神谷そうへい 後援会通信 ますらお vol.6

討議資料

龍馬プロジェクト
RYOMA PROJECT
龍馬プロジェクト全国会 会長
吹田市議会議員
神谷 そうへい

誠の維新!

Contents

●神谷そうへいは、なぜ政治家になり、何をしたいと考えているのか?
●なぜ、神谷は龍馬プロジェクトを始めたのか?
●龍馬プロジェクトのビジョンと国是十則
●メディア掲載履歴
●過去五年の活動
●インターン生からみた神谷そうへい!!

●神谷そうへいは、なぜ政治家になり、何をしたいと考えているのか?

なぜ、政治家になったのか?

私は、21歳の時1年間海外におりました。そこで、同世代の若者が徴兵などを経験し、自分の国の未来と自分個人の将来をリンクさせて考えている事を知りました。当時、私自身は自分の将来を考える事はあっても、日本の将来など考えた事はありませんでしたし、そんなことは誰かが何とかしてくれると思っていました。しかし、周りの同世代の日本人の様子をみても、誰もそんなことを考えている様子はありませんでした。

また海外を周る中で、アフリカにある貧しい国などに行き、貧困などの世の中の厳しい現実を自分の問題として考えられるようになり、「人権や平等」といった概念を日本で当たり前のように振りかざしていた自分が情けなくなるとともに、敗戦ののち日本をここまで豊かにして下さった先輩方に感謝の気持ちを持つことができました。

そして、日本の将来や世界の現状を真剣に考えると「自分を含めた今の日本の若者の意識はこれでいいのか?」「我々若者が今のように甘えた意識で生きていると日本の将来は危ないのではないか」と問題意識を持つようになりました。帰国後そんな想いを友人や家族に伝えましたが、一学生の私の意見は誰にも上手く伝わらず馬鹿にされることもありました。

一時は、自分の思いを心から消し、普通に就職して引かれたレールの上を生きていこうかと考えたこともありましたが、自分の中の「気付き」は消すことができず、「しかるべき立場についてメッセージをおくり、周囲の意識を変えていこう」と決心し、政治家になることを目指しました。

どうやって政治家になったのか?

政治家になるには、法律や政治の知識・お金が必要だと思ったので、まず弁護士になろうと考え、司法試験の勉強を始めました。けれども、福井の実家の食品スーパーの経営が思わしくなく、福井に戻ってスーパーの手伝いをしながら、高校の先生をするという生活を送りました。3年間頑張りましたが、実家のスーパーは倒産の憂き目にあい私は両親と共に家と財産を失ってしまい、政治家になることを諦めていた時期もありました。けれども友人等の助けもあり、関西大学の法科大学院に進学するチャンスをもらいました。そこで議員インターンシップを経験したことで、弁護士よりも地方議員に惹かれ、29歳で80万円の資金で選挙に出て、「地盤・看板・鞄」全くなしで吹田市議に当選させて頂きました。

政治家として何がしたいと考えているのか?

そんな私が目指すのは、教育による「日本人の、特に若い世代の人の意識改革」です。私が海外に出て気付いたことや感じた危機感を皆さんと共有し、自分たちのために「日本のグランドデザイン」をつくって、実現させたいと考えています。それが、吹田市のためであり日本のためになると考えていますし、ひいては自分や将来の自分の子供のためになると私は信じているからです。

意識改革を実現するには、利己的なメリットではなく、国家観や歴史観に裏打ちされた「公共心」をもった人を増やす教育を普及させるのが、番の道だと考えています。けれど吹田市議会で一所懸命その考えを訴えましたが、一人の声は全く広がりませんでした。そこで、石川勝前吹田市議に協力してもらい、一時は当時の橋下徹府知事とも連携して、吹田市政の方向性やおかしくなっている教育を変えようと取り組んできました。その延長線上に、平成23年の吹田市長選への挑戦があり、現在の吹田新選会(市議グループ)の拡大があります。

ただ、「意識改革」を訴えていて気付いたことは、市民の意識一つ変えようと思っても、吹田市だけの活動では、様々な壁があって吹田市民の思いは変えられないということです。もっと大きな国民運動を起こし、マスメディアを通じて情報を発信しないといけないと思うようになりました。急がねば、我々の取り組みよりも、国民意識やモラルの崩壊の方が早く、それは経済にも影響し、日本は国際的な経済競争に敗れ、また三流国からやり直さなければならない。もしくはその過程で外国勢力の影響を今以上に強く受けて、日本という国の文化や伝統が壊れ、やり直すことすらできないという強い危機感をもって政治をしています。

若い世代の新しい政治

そこで、今真剣に取り組んでいるのが「龍馬プロジェクト」という活動です。

これは私が発案した活動で、

①全国行脚…全国を回って志ある若者を集める

②薩長同盟…政党などにこだわらないチームで結束を固め国民の信頼を得る

③船中八策の提案…新しい日本のグランドデザインを提案し、皆さんに「わくわく感」や「夢」をもって頂ける若い世代の新しい政治を実現させる

という坂本龍馬の行動になぞらえ、「龍馬プロジェクト」と命名しました!

本紙ではこのプロジェクトについて説明をしてこうと思います。

海外の若者たちと

プロフィール

○昭和52年10月12日福井県大飯郡高浜町生まれ○山田東在住(事務所:千里山)○経歴:福井県立若狭高校、関西大学(文学部)、関西大学法科大学院卒業(法務博士)○紹介:大学時代の海外生活で「日本の若者の意識を変えなければ、この国の将来が危ない」と危機感を抱き、日本の教育改革を目標に政治家をこころざす。食品スーパー店長、高校教師から大学院を経て、29歳で吹田市議に初当選。文教市民委員長・副議長等を歴任。現在2期目。○趣味:スポーツ全般、旅、史跡めぐり○性格:やるといったら必ずやる○好きな言葉:志をもって万事の源となす○尊敬する人:吉田松陰、坂本龍馬、山田方谷○所属:龍馬プロジェクト全国会(会長)、関西州政治家連盟(代表)、(公社)吹田青年会議所、予備自衛官(3等陸曹)、吹田市消防団山田分団、(財)近畿警察官吹田地区友の会、(公財)モラロジー研究所、親学推進協会(親学アドバイザー)、関西大学校友会

●学生インターンから見た神谷そうへい!

平成24年2月、3月に神谷宗幣が受け入れたインターン生に神谷宗幣について聞いた。

―神谷宗幣さんの下で、議員インターンシップに参加したそうですが、そもそも「議員インターンシップ」とはどのようなものなのですか?

インターン生　議員インターンシップというのは、夏休みなどの一定期間、議員と行動をともにすることにより、議員の仕事やその思い、政治と社会のつながりを知ろうというものです。具体的には、神谷さんの場合、毎朝の街頭活動や各種勉強会の参加がメインです。

―「神谷さんの場合は」とおっしゃいましたが、それは各議員で異なるものなんですか?

インターン生　各議員によって異なります。神谷さんは特に歴史教育とメンタルマネージメントに力をいれられており、その指導はかなり厳しいです。

―厳しいというと?

インターン生　とにかく怒られます。靴が揃っていない、整理整頓がなっていないなど社会的礼儀については厳しく指導してくださいました。また、安易な発言・行動に対しては「もっと考えろ!」「間違っていることには「アカン!」とはっきりいってくれます。時には仕事がたまっているにもかかわらず、お説教のためだけに1時間近くもの時間を割いてくださいます。

―そんなに厳しくて嫌にならないんですか?

インターン生　そりゃ、へこみますよ。「もう、大学生やのにこんなこともできひんかったのか」と。でも、逆にいえば普段の生活でそんなあたり前のことができていないのにもかかわらず、だれも叱ってくれなかったってことじゃないですか?それを神谷さんは忙しく、疲れているにもかかわらず私たちのために叱ってくれるんですから本当に感謝しています。その上、神谷さんの怒りの中にはちゃんと私たちの将来のこと心配ししっかりとした大人になるようにとの熱意があるので、余計に心に入るんですよ。だから、感謝こそすれ嫌にはなりませんね。まぁ、インターン生全員にMっ気があるのは事実ですが。(笑)

―インターン生からみた「神谷宗幣」とはどのような人間ですか?

インターン生　私たちのことを想ってくれる熱く誠実なありえない政治家ですね。

―というと?

インターン生　神谷さんは本当に熱いというか熱すぎる人で、利権にとらわれず、愚直に私達を含めた若者や日本全体のことを心配し、考え、あきらめてしまいそうな難題にも志をもって突き進んでいってしまう方なんですよ。「若者の意識を変える」とか言わないで普通に働けば、頭もいいし、人望もあるので絶対に成功するでしょうに、自分を酷使するんですよ。18時終わりの議会終了後に21時までの勉強会に参加したり、活動の間になんとか時間を作り、宮城県の被災地、南三陸町を二時間強訪れるために、往復四時間かけて仙台から移動したり、本当にありえないと思います。

―そんな人、本当にいるんですか?

インターン生　それがいるんですよ。辛すぎて、しんどすぎて政治家を辞めたくなるときもあるそうですし、先日の改革気質に変わるんじゃないかと期待した議会が結局旧体質のままだとわかった日はかなりへこんでおられました。その上、真面目な話だけでなく、男子学生だけが盛り上がるお話もしてくださいますし、「ワンピース」や「ナルト」も全巻揃えているんですよ。

熱く誠実なありえない政治家…不思議と「この人なら」と期待してしまうんです

―誠実な政治家というからそのような情はないお堅い方だとおもいましたよ。

インターン生　先日は「ワンピース」の「ルフィ」のように政治をやっていきたい」とおっしゃっていましたよ。本当にありえないでしょ。しかし、神谷さんの発する熱意ある言葉に心を動かされ、魅せられ、不思議と「この人なら」と期待してしまうんです。是非、神谷宗幣と直接お会いしてお話を聞いていただければとおもいます。

●過去5年の主な活動

- 平成19年4月　吹田市議会議員初当選(2663票)
- 平成19年11月　台湾視察(テーマ:教育、歴史)

初の海外視察で学校訪問

- 平成20年1月　林英臣政経塾に入塾
- 平成20年7月　吹田新選会が交渉会派に昇格
- 平成21年4月　大阪教育維新を市町村から始める会を設立

橋下知事(当時)らと活動していました

- 平成22年1月　龍馬プロジェクトスタート

龍馬Pの企画を共に考えた中山義隆氏(現石垣市長)

プロジェクトに協力いただいた安倍元総理

- 平成22年4月　ドバイ視察(テーマ:教育、経済、観光)
- 平成22年6月　龍馬プロジェクト全国会設立

総会にお越しいただいた渡辺善美氏

総会にお越しいただいた山田宏氏

- 平成22年8月　台湾視察(テーマ:外交、国家ビジョン)

日本の国家ビジョンをご指導いただいた李登輝元総統

- 平成22年10月　予備自衛官に任官
- 平成23年11月　中国視察(テーマ:経済)
- 平成23年4月　吹田新選会で市長選と市議選を戦う。2期目当選(5856票)
- 平成23年5月　東日本大震災被災地を視察(現在まで合計4回)

政治家の原点を考え直した被災地

- 平成23年6月　吹田市議会副議長に就任
- 平成23年8月　マレーシア、シンガポールを視察(テーマ:教育、観光、都市開発)

アジアの勢いを感じた海外視察

- 平成23年10月　オーストラリア視察(テーマ:教育)
- 平成23年12月　ベトナム視察(テーマ:教育、企業の海外進出)
- 平成24年2月　中国視察(テーマ:教育、経済)
- 平成24年2月　大飯原子力発電所を視察(テーマ:エネルギー問題)

マスコミ報道との温度差を感じた生まれ故郷の原発

- 平成24年5月　普天間を含む米軍基地を視察(テーマ:国防)

日本の国防を問い直した基地視察

お問合せ

本紙の感想や皆様の政治に対するご意見を神谷そうへいにお寄せ頂ければ幸甚です!

検索サイトから　吹田　神谷　検索

【連絡先】吹田市千里山西1-37-40
神谷そうへい事務所
TEL : 090-6059-8330　FAX : 06-6385-1239
Mail : info@kamiyasohei.jp

●なぜ、神谷は龍馬プロジェクトを始めたのか？

どうも日本がおかしくなっていると思いませんか？

延々と続く経済の停滞や会社の倒産・失業、若者の就職難、年金をはじめとした社会保障への不安、モラルの崩れた生活保護のあり方、後を絶たない残虐な犯罪、我が子に対する虐待などなど。あげればきりがない問題を日本は抱えており、日本全体の『目的』が定まらず、国民が『希望』を見いだせず、先の分からない暗闇の中を手探りで歩いているような状態です。

皆さんの本当のメリットになる政治を！

そして、こうした問題の背景にあるのは、社会システムの荒廃とそれを変えられないと諦めている国民の意識です。

誰しも、戦争などなく、秩序ある公正な社会の中で、家族や友人と一定の豊かさを維持し幸せに暮らして生きたいと願っています。私自身も同じです。

ですから私は、皆さんと共に行動することによって、周囲の人の意識を変え、戦後のマインドコントロールから逃れ、社会システムの「体制転換」をはかり、みんな安心して暮らせる日本を守りたいと思い、政治家を務めています。

皆さんは景気が良くなりお金があればそれだけで幸せですか？

私はそれでは不十分だと考えます。皆さんの幸せは、お金などの物質的なものだけでなく、安心や家族・友人と過ごす時間など、形にできないものが作りだすと私は考えます。そうであれば、我々政治家の仕事は、皆さんの安全と食糧・エネルギーを確保し、一定の仕事を用意して、皆さんが「幸せだ」と感じられる環境をつくり、意識改革によって前向きな気持ちの持ち方を訴えていくことだと思うのです。

本当のメリットの源は物質ではなく、一人一人の気持ちの中にあります。

本の問題点を挙げ、それを解決するために私が考えた方法、そして具体的に取り組んでいることを説明したいと思います。

いったい何が問題なんだ！

私は、以下の3点が日本の大きな問題だと捉えています。

①社会システムの老朽化と荒廃

日本社会は、合理化の名の下にヒト・モノ・カネの首都圏への一極集中を招き、地方は疲弊し、各地に存在していた伝統文化や風習、地域社会、最小単位のコミュニティーであるはずの家族さえも壊れつつあります。こうしたものの崩壊が、人の繋がりによる社会保障や安心感、社会の教育力を失わせる原因となり、少子化を進行させ、国全体の活力や仕事を奪っています。

②失われつつある独立自尊の精神

次に、米軍の助けなしではやっていけない保護国のような国の防体制への甘えが、「自分の身は自分で守る」という国家として当然の義務を放棄させ、憲法の過度な権利保障とそれを現実のものとした経済成長とあいまって、自立心を失った国民を多く生み出しました。また、軍事的に自立できないということは経済的にも自立した外交交渉ができないということに繋がり、国民の富が知らないうちに奪われる状況をつくっています。

③なぜこうなったのかがわからない

そして、なぜこうなったのかがわからないのが最大の問題です。先の大戦後の約7年に及ぶ占領政策の下、言論統制や教育制度の改定が行われ、長い歴史の中で日本人が築いてきた精神性や価値観が失われてしまったことすら、若い世代の国民は知りません。また、戦死者と餓死者を出さなければそれで良いとの戦後民主主義が浸透したことで、世界の中での日本の役割を見失い、国民が利己的な活動に没頭し、公徳心や利他心を失う人が増えました。さらに、大企業等をスポンサーに持つマスメディアが一定のバイアスのかかった報道を繰り返したことで、自分の頭で「考える」ことをしなくなった国民を多く生んでいます。

そこで考えた龍馬プロジェクト！

しかし、山積する問題をあげて政治家や公務員といった人のせいにしていても現状は何も変わらないのです。それぞれが問題は自分の中にあると意識を変え、先に挙げたような問題の本質を自分の頭で一人一人が「考える」ことが大切です。

そこで私は、考えるきっかけを与えてくれるオピニオンリーダーが今の日本には必要だと考えました。私利私欲の行動や他人の批判ではなく、皆さんの意識を束ねていく、皆さんから信頼されるリーダーが必要だと考えました。しかもそれは個人ではなくチームであった方がより発信力があっていいと思ったのです。

そして党利党略や外国政府の圧力で動かざるを得ない既存の政治集団の外側にそんなチームをつくり、アニメの「ワンピース」のように、みんなで共有できる大きなビジョンを掲げ行動していけば、様々な政治のしがらみを破って、皆さんに訴えを届ける事ができ、皆さんに「意識をかえてもらえるのではないか」「未来に希望をもってもらえるのではないか」そう考えたのです。

愛すべき「バカ」と呼べる仲間たち。

龍馬プロジェクトメンバーと桂浜にて

そんな思いを持って2010年から、3年間全国を飛び回り、想いを共有し共に行動してくれる仲間を集めてきました。たった5人からのスタートでした。私達は「日本の国家ビジョンをつくって周囲の皆さんに訴えていこう」「同じ思いで活動してくれる仲間を増やそう」と全国各地で訴えました。最初は「何がしたいのかよくわからない」「何のメリットがあってそんなことをするんだ」という批判的な意見をよく聞きました。しかし、少しずつ仲間が増え、3年間で若手の政治家を中心に200人を越える熱いメンバーが集まりました。

そうして集まったメンバーは、日本全国だけでなく、アジアを中心に諸外国もまわり、それぞれの「地域の歴史・課題・政策」「住民・国民の思い」を学びながら、お互いに時間を共有し、信頼関係を築く中で、「国家観」や「これからの日本のビジョン」「ビジョン実現のための解決策」を考えてきました。政治家であれば、選挙区での活動を優先させる人が多い中で、地元を離れ、自腹を切って共に駆け回った時間が、愛すべき「バカ」と呼べる仲間とチームを作りました。それが「龍馬プロジェクト」です。

龍馬プロジェクトを共に進めた
鈴木英敬氏（現三重県知事）

皆さんへのお願い！

日本の問題とその根底を変えるために考えた方法、そしてこれまでの活動を説明しました。これからは私達だけではどうにもできません。政治家だけでは、日本の体制転換は図れませんし、意識改革がなければ、皆さんに「豊さ」や「幸せ」を感じて頂くことはできません。

我々は、じっくりと時間をかけ、私利私欲でなく本気で人生をかけて政治をやろうという若者や政治家を集め、日本のビジョンや解決策を示すところまでは何とか漕ぎつけました。

次は皆さんに、我々のことをまず知って頂き、考えや政策を周囲に広げてもらうという協力を頂かなければなりません。口コミでも紙面でもインターネットでも結構です。皆さん「一人一人が少しずつ希望と期待をもって行動に移して下されば、それは大きな力になり、マスメディアでも作りだせないような「うねり」を作ります。これが我々の考える地方からの、若者からの国民運動です。

「できない」を「できる」に変える！

最終的に一番しんどいところを担う役割は私達が務めます。人生をかけてそれをやるために我々は集まりました。ですから皆さん「できない」と思う気持ちを「できる」に変えて、「誰かお願い」という気持ちを「自分たちで」に変えてください。

1面に私が政治家になった経緯を書きました。21歳の時に私が今と同じことを言った時、周囲の人はみんな笑いました。でも、少しだけ私の話に耳を傾けてくれた友人がいて、私はその人の助けで大学院に行き、今こうして政治に携わり、多くの仲間と共に自分の思いを皆さんに伝える事ができています。

一人の思いでもここまでできたのです。多くの人の思いが重なり、お互いが信頼しあえば絶対に日本は変えられるし、皆さん自身が幸せになれます！繰り返しになりますが、誰もが戦争などなく、秩序ある公正な社会の中で、家族や友人と一定の豊さを維持し幸せに暮らして生きたいと願っていると、私は信じています。

そんな社会を作りだすのは我々の意識であり、一人一人の行動に体制転換が委ねられているのです。コップの中の争いや諦めの気持ちを捨て、一緒に行動してください。

若い世代の新しい政治が「できない」を「できる」に変える！

小泉進次郎氏と龍馬プロジェクトの仲間

龍馬プロジェクトホームページ

検索サイトから 龍馬プロジェクト 検索

http://ryouma-project.com

●龍馬プロジェクトのビジョンと国是十則

今の日本には根本的問題があります。今のまま進めば、日本人はとんでもない感覚を持った国民に落ちぶれていくことになり、結果、国の経済力が衰え、みんなの生活が苦しくなる。ならば今何をすればいいのか。どんな政治が必要なのか。

龍馬プロジェクトは我々の政治理念をまとめた「国是十則」に基づく政策を行い、社会全体が仕事と気力にあふれる社会。死生観をもち頑張る者が報われる社会。大人は誇りと自身をもち、子供は希望に目を輝かせる社会の実現を目指します。

今の日本の3つの根本的問題

- 社会の制度疲労と経済の不況
- 独立自尊の精神と倫理・道徳の喪失
- 近代史の未総括と拝金主義の蔓延

龍馬プロジェクトの想い

日本国は、世界最古の国として、歴史と伝統・文化を重んじ、自然を敬い、天皇を国の中心に置くことによって、「和」をもって国民が一体の国であり続ける事ができた。そこに我が国の誇りがある。我々は、その長い歴史の中で世界の国々から様々な宗教や哲学を取り入れ、独立自尊の精神を尊び、公徳心と利他心を持ち、敬神崇祖の心を大切にし、国を護持・発展させてきた。これからもその精神や道徳、文化の価値を見失うことなく、「道義国家」として国際社会の中で誇りある役割を果たし、世界の平和と人類の幸福が実現される「共生文明」の創造に寄与していきたいと願う。

国是十則

一、暮らし―子の誕生を喜び、長寿を楽しめる、感謝と絆でつながる社会をつくる。
一、安　心―努力したものが報われる公正な社会保障制度を確立する。
一、国　土―自然への畏敬の念を持ちつつ、国土を強靭化し、地方を活性化する。
一、経　済―国民が仕事と希望を掴める公益経済の仕組みを確立する。
一、政　治―政党を近代化し、憲政の常道を守り、民意を受けた強い政治家を輩出する仕組みをつくる。
一、資　源―原子力発電の軟着陸と食の安全保障を実現する。
一、国　防―国家戦略府・国防軍・情報局を創設し、国の主権と国民の生命・財産を守る。
一、教　育―先人が紡いだ歴史に感謝し、個人の独立自尊の精神を育む国民教育を行う。
一、憲　法―日本の歴史・伝統・文化を重んじた新しい憲法を制定する。
一、皇　室―元首である天皇と、祭祀を司る皇室を敬い、世界最古の皇統を守り続ける。

●メディア掲載履歴

執筆本

龍馬プロジェクト
（カナリア書房）

100人の龍馬
（PHP研究所）

20代コネなしが
市議会議員になる方法
（ダイヤモンド社）

神谷の活動を紹介

読売新聞　2011.6.16

立志政経舎を結成

毎日新聞　2012.5.29

龍馬プロジェクト結成
読売新聞　2010.6.6

吹田市長選への
挑戦を表明
サンケイ新聞
2010.11.13

※このほか掲載多数。
詳細は神谷そうへいのホームページの「メディア掲載履歴」をご覧ください。

「立志政経舎」設立！

自分たちが頑張るだけでなく、社会を良くするためには、次に続く人材育成が不可欠です。そこで、大学生を対象にした塾（インターンシップ）を8人の政治家で立ち上げました。政界、経済界、教育界で活躍するリーダー育成に本気で取り組みます。

詳しくは HP にて
検索サイトから 立志政経舎 検索

龍馬プロジェクトのスマートフォンアプリが完成しました！

AR+α

下記の手順をご覧下さい。
※android に対応しています。iphone のものは現在準備中。

1. Google play のページを開いて、アプリをダウンロードする。「龍馬プロジェクト」で検索して下さい。

2. アプリを起動して、下のロゴをかざすと動画が再生されます。

龍馬プロジェクト
RYOMA PROJECT

3. 再生された動画に出てくる神谷会長をタップすると…。